

# 学校長通信 No.33

## 2 学期について（平成 28 年度 2 学期始業式 式辞）

---

夏休みはどうでしたか。休み前にお話ししましたが、気持ちを上手く切り替えて自分のリズムを作って過ごせたでしょうか。これからの自分の生き方のヒントになるような新しい経験ができていれば 100 点満点です。ただ今日皆さんにお話ししようと思っていることは、満点の人もそうでない人も両方に聞いてほしい話です。

まず 2 学期について。2 学期はいろいろありますよ。まず、体育祭と文化祭が 9 月下旬にあります。応援合戦などで、もういろいろと準備してくれている人がいると思います。自分たちで企画運営するということは大変なことですが、やり切った時の充実感も半端ではないのでみんなで盛り上げましょう。それと 2 年生は 11 月に修学旅行があります。去年は 6 月、その前は 1 月でしたから、その分 2 学期が忙しくなります。これも自分たちで作り上げる旅行にすることが楽しむための秘訣だと思います。そして、体育館の懸垂幕で気づいている人も多いと思いますが、創立 30 周年式典があります。この企画は PTA や後援会、同窓会などで組織している実行委員会で進めています。式典当日、みんなでいい意味での緊張感をもって厳粛ながらも楽しい式典を成功させたいと思います。ひとつだけ皆さんにお願いしたいのは、最後に全員で校歌を歌いますから、しっかり覚えておいてください。2 学期も毎日昼休みの最初に校歌を流していきますからね。

さて、そんなこんなの 2 学期ですが、どっこい勉学の秋であることも忘れてはなりません。勉強は大事です。君たち学生の本分ですから。昔、私が高校生だった頃、担任の先生に訊きました。「なんで勉強せなあかんのですか。」昔の高校生も君たちと同じように悩みました。当時の私は大学進学を希望していましたので、先生は「希望大学に入りたいんだらう。それともいける大学ならどこでもいいのか。どこでもいいなら今の力で入れる大学を探して受けたらいい。簡単や。でも希望の大学があるなら受かるように勉強しろ。」と言われました。私は「わかりました。希望大学に行きたいので勉強します。」と答えました。まあ、誰も間違ったことは言ってません。ここで問題です。なんらかの目的をもって希望大学に入りたいと思って勉強します。そして受かったとします。勉強が大学合格のためだけにするものであれば、この時点で目標達成ですから、その後、勉強なんてしなくていいことになります。それでいいでしょう

か。違いますよね。勉強は一生し続けるものだ、というのが正解です。大学に入ったら大学の勉強が、社会人になったら社会人の勉強が一生続きます。なぜなら、アタマは常に鍛えておかないと弱くなるからです。そういう意味ではカラダだってアタマだって同じです。しっかり訓練を続けるから強いのであって、鍛えるのをやめるとすぐ弱くなります。アタマの場合、弱くなると自分で物事を判断できなくなります。他人任せにするか、好きか嫌いだけで判断するようになります。日常のささいなことはそれでもなんとかなるでしょう。でも、ここ一番の大切な判断に迫られた時どうでしょう。多分、普段からアタマを鍛えておかないと、まず判断を間違ってしまうでしょう。なぜか分かりますか。鍛えていないと人間は無意識に楽で気持ちのいい方の選択をするからです。そして、そっちは大抵が不正解。だから私たちはずっと勉強し続けてアタマを鍛えておく必要があるのです。

話が長くなりましたが、2 学期のいろんな行事に全力で取り組んで下さい。そして、アタマを鍛えるため勉強にものめり込んでください。いろんなことに悩みながら、一所懸命に徹する。それが高校生らしい高校生の本分だと思います。